



おおくす



環境についての学びを広げる ～4年生 社会見学～



6月2日(火)、4年生の社会見学が実施されました。今回の見学は、「環境」についての学びを広げることが主な目標でした。まず、「鈴鹿市不燃物リサイクルセンター」へ行きました。ここには、ビニールごみや燃やせないごみなどが、鈴鹿市中から集められていました。子どもたちは巨大なクレーンがたくさんのごみをつかんで移動させているところや、ごみが手作業によって分別されている様子などをガラス越しに身を乗り出すようにしっかりと見つめていました。最後に、学習用の展示物やビデオを見せてもらい、ごみを減らすための「4R」を確認しました。

ごみの4R (よんあーる)運動

- ① Refuse(リフューズ) 不要なものは断ろう
- ② Reduce(リデュース) 使用する量を減らそう
- ③ Reuse(リユース) 再利用しよう
- ④ Recycle(リサイクル) 資源化しよう

「4R」とは、4つの言葉の英語の頭文字(R)をとった、ごみを減らすためのキーワードです。



次の見学場所は、「四日市港ポートビル」でした。ここでは、四日市港の歴史と、港の役割を学ぶことができました。また、展望展示室から港の様子と四日市の街の様子を眺めることもできました。

最後に、「南部浄化センター」を見学しました。あいにくの雨で、浄化施設を直接見学することはできませんでしたが、



水がきれいになっていく過程のサンプルを見せてもらい、微生物が汚れを食べて水をきれいにしていくことを学びました。環境をきれいにするために、この見学で学んだことや考えたことを、生活の中で実践して行ってほしいと思います。

工場や公共施設を調べる ～3年生 社会見学～

6月9日(火)、3年生の社会見学が実施されました。3年生は社会科の学習で、鈴鹿市内の土地の様子や、工場で働く人々の仕事、公共施設の仕事などについて調べる学習をしています。それらを実際に見たり、働く人々のお話を聞いたりして、学びを深めるため、「本田技研工業株式会社鈴鹿製作所」さんと、「鈴鹿市消防本部」を訪れました。



本田技研鈴鹿製作所さんでは、学校の何倍もある広い敷地と、2kmも続くとても大きな工場に驚かされました。工場の中では、たくさんの機械が直線状に並び、ベルトコンベヤーによって次々に車が運ばれ、部品が取り付けられていました。



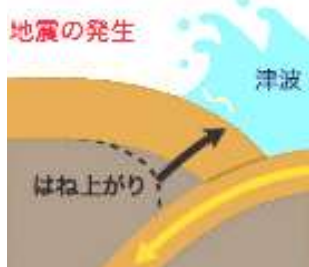
子どもたちは、初めて見るものや耳にするものを興味深く見つめていました。最後に会議室で工場の様子や車ができる工程のビデオを見せてもらい、たくさんメモを取っていました。

その後、バスの車窓から鈴鹿市の西部地域の茶畑や交通網の様子を見学し、フラワーパークに向かいました。到着後、子どもたちは芝生に敷物を広げ、お弁当をおいしそうにほおぼっていました。

午後から訪れた消防本部では、消防署や消防車の仕組み、消防士の仕事など多くのことを学ぶことができました。社会見学の後、学んできたことを、見学新聞などにまとめていく授業がとても楽しみです。

地震についての学びを深める ～6年生 防災学習～

6月10日(水)、6年生が防災学習を行いました。この学習は、南海トラフ地震の発生が迫る中、大切な命を守るため、まちづくり協議会の防災安全部の皆さんが中心となって企画・運営して下さる地域協働事業です。



これまで学校で行ってきた防災学習と大きく違う点は、地震への備えや避難の方法を学ぶだけでなく、地震についてのデータ、地震が起きるメカニズム、巨大地震の歴史といった点から地震を科学的に考察し、思考・体験活動を取り入れた総合的な学習を行うところです。

この日は、体育館でスライドや動画を見せてもらいながら、地震についての知識を深める学習をしました。子どもたちは、日本は世界で4番目に地震が多い国であること、巨大地震は80～130年ぐらいの周期で起きていること、南海トラフ地震は海底に沈みこんだプレートが跳ね上がって起きることなど、たくさんのことを学びました。

また、南海トラフ地震で、長太の町は震度6の地震が想定されていることや、震度6になると固定していない家具のほとんどが移動する、立っていることはできない、耐震性の低い木造建物は倒壊することもある、地割れや山崩れなどが発生することがあるなど、その恐ろしさも理解することができました。さらに、地震が発生する前から避難生活までのタイムラインについても教えていただき、地震は発生したその時だけ対応すればよいのではなく、前後も含めて考える必要があることも分かりました。



2時間に及ぶ長い座学でしたが、たくさん子どもたちが集中して話を聞き、大事と思われるところを一生懸命にメモしていました。巨大地震への対応を自分事として受け止め、真剣に考えている様子は、何とも頼もしく、嬉しい姿でした。この日のためにいろいろと準備を進めてくださった、まちづくり協議会の皆様ならびに参加していただいた保護者の皆様、ご多用の中をありがとうございました。

次回は7月8日(水)、グループワークを中心に、避難所の様子や非常時の持ち物、避難経路の確認などを行います。また、8月29日(土)は 15:00 から避難所体験として、防災倉庫にある避難用具を実際に試しながら、体育館に宿泊する計画もしていただいています。なお、宿泊につきましては、安全管理上、6年生保護者の方のご同伴が必要となります。貴重な体験となると思いますので、活動の意義をご理解いただき、参加について検討していただけたらと思います。

